

栃武蔵新十両昇進に伴う化粧まわし贈呈式を行いました

～燃えよ凜烈の意気！～

中央大学卒業後大相撲に入門し、先の9月場所で新十両昇進を果たした本校卒業生の栃武蔵関（本名：菅野陽太 平成28年度普通科スポーツコース卒）の化粧まわし贈呈式を行いました。9月場所では故障を抱えながらも、校訓「凜烈の意気」の精神で連日よく健闘し、見事11勝4敗で新十両優勝を果たし、贈呈式に花を添えてくれました。本校卒業生の新十両昇進は栃乃和歌（現：春日野親方）、大輝煌、木村山（現：岩友親方）に次いで4人目です。また、新十両力士の優勝はおよそ4年ぶりの快挙であります。贈呈式には栃武蔵関が在籍当時の校長や担任の先生も駆けつけてくれました。森校長先生からは、「今回の優勝はまさに高校時代同様の絵に描いたような活躍でした。次は幕内昇進と幕内優勝を目指して精進してください。」と激励の言葉があり、栃武蔵関からは「いろいろな方のご支援をいただき、十両優勝できました。ありがとうございます。これからも『凜烈の意気』の精神で、相手に立ち向かっていきます。」と謝辞を述べました。



右から加藤行（元担任）、藤村利行（元校長）、児嶋正人（相撲部後援会長）
栃武蔵関、森文哉（校長）、梅本登（相撲部総監督）
古川博一（相撲部OB会長）池田真之（相撲部部長）